

2025  
2月号

公益社団法人大阪社会福祉士会

# 南河内支部だより

## 研修報告

### 社会福祉士と救急隊のミーティング ～福祉職と救急隊との連携について考える～

2024年11月29日(金)に大阪南消防局にて、救急隊員と意見交換会を開催しました。

福祉職19名と救急隊員18名が参加し、地域ごとに分かれてグループディスカッション(福祉職と救急隊員との連携で双方が感じている課題について)を行いました。また、消防局の見学もさせていただくことができました。話し合いの内容や参加者からの意見の一部を紹介させていただきます。

#### ■グループディスカッションの内容

- 救急搬送時に病院からどんな情報を求められているのか、絶対に必要な情報について事前に共有したい。
- 救急隊は、救命を第一に動いているので、DNARなどの意思表示が明確でない場合に心肺蘇生などの処置を行うが、後々、家族から希望と違ったなどと言われることがある。
- 施設職員が救急車に同乗した場合、かなりの時間を拘束される。同乗できない場合、必ず患者のことが分かっている職員に繋がる連絡先を確保していることを救急隊から病院に説明してもらいたい。
- 医師と看護師、救急隊で症例検討会をする機会がある。福祉職とそのような機会があまり無い。福祉職も参加することで、お互いのことをより理解し合えると思う。

#### ■参加者の意見(アンケートより)

- 普段のやりとりは、緊急状態なので十分なコミュニケーションを図ることができない。今回の研修は、お互いの状況を理解するきっかけづくりになったと思う。もっと救急隊員の方々のお話を聞きたい。
- 救急隊員が必要とする情報は、病院が必要としている情報であり、要請側の情報不足は円滑な搬送業務を妨げることになると理解することができた。
- 家族に連絡がつかない、もしくは家族がいない方の対応について、病院・行政を交えて協議していきたい。これは、社会問題だと思う。
- 各市町村ごとで高齢者施設と消防本部との連絡会を行うなど、今後も情報交換の場が必要だと思う。
- 救急隊が欲しい情報のリストがほしい。事前にわかっている情報は、情報を用意できる利用者もいると思う。



## 今後のスケジュール

3.18 (火) 18:30 - 19:30

## 南河内支部総会

2024年度の振り返りと、2025年度の取り組みについて話し合います。

会場：健康スタジオまつばら(松原市阿保3-4-31)

申込は不要です。直接、会場にお越しください。



南河内支部ゆるキャラ  
『お助けみなみん』

4.12 (土) 13:30 - 14:40 (質疑応答10分含む)

## 川口 加奈氏 (認定NPO法人Homedoor 理事長) 講演会

ホームレスの人々への支援についてご講演いただく予定です。

会場：どうみょうじ高殿苑(藤井寺市道明寺3丁目2-2) 定員50名

### 講演会の申し込み

右のQRコードからお願いします。

講演会の詳細は、なにわだより4月号に同封するチラシにてご確認ください。

